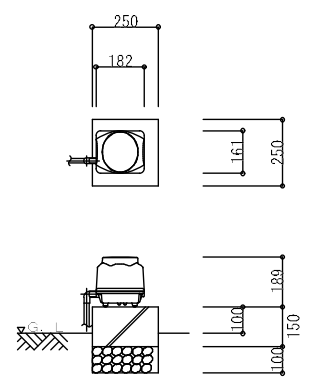


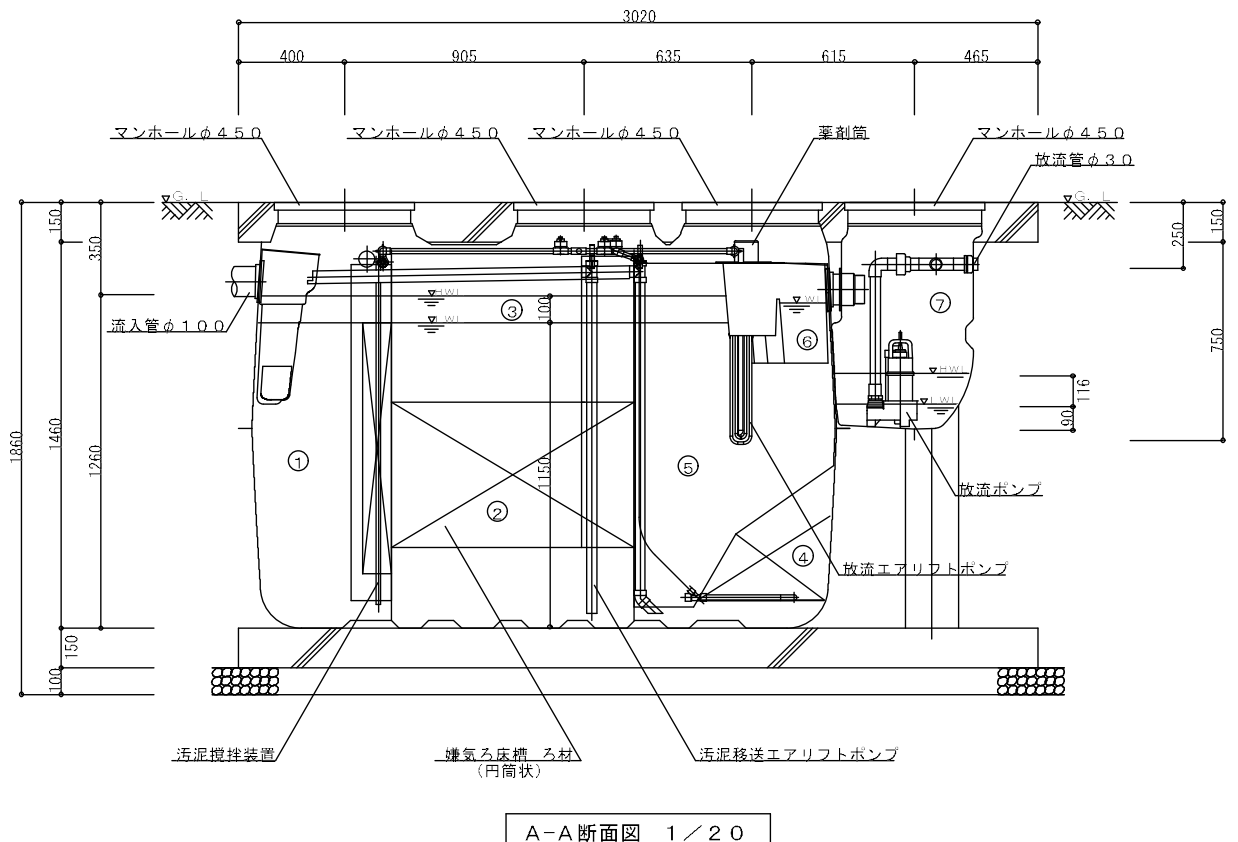
平面図 1 / 20

一般事項	
コンクリート	Fc=21N/mm ²
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
開口補強筋	D13シングル
地業	砕石又はRC 40~0

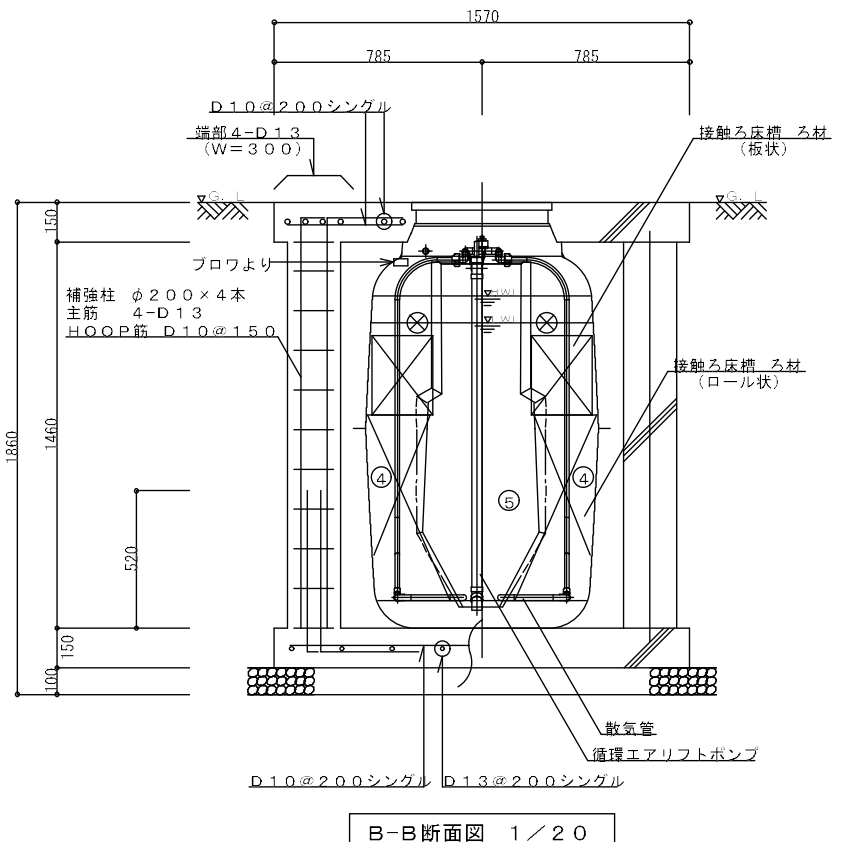


フロウ 平・断面図 1 / 20

※基礎寸法は参考値とする



A-A断面図 1 / 20



B-B断面図 1 / 20

仕様表			
設計番号			
型式名称	CA-7型		
処理対象人員	7人		
汚水量	1.40m ³ /d		
流入水質	BOD 200mg/L	COD 100mg/L	T-N 45mg/L SS 160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L SS 15mg/L
①	沈殿分離槽	有効容量	0.447 m ³
②	嫌気ろ床槽	有効容量	0.842 m ³
③	ピークカット部	有効容量	0.170 m ³
④	接触ろ床槽	有効容量	0.415 m ³
⑤	処理水槽	有効容量	0.228 m ³
⑥	消毒槽	有効容量	0.015 m ³
⑦	放流ポンプ槽	有効容量	0.029 m ³
	総容量	有効容量	2.117 m ³
機器装置仕様			
嫌気ろ床槽ろ材 (円筒状)	PPまたはPE	充填率	43%
接触ろ床槽ろ材 (ロール状)	PPまたはPE	充填率	61%
接触ろ床槽ろ材 (板状)	PPまたはPE	充填率	21%
フロウ	90L/min	φ13	連続運転 1台
放流ポンプ	80L/min 130W	φ30	自動交互運転 2台
槽本体	FRP		
パイプ類	PVC, PPまたはPE		
マンホール	FRP (1500K)		
消毒剤	圓形塩素剤		

配管仕様	
露出配管 (フロウ廻り)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部はT-6荷重とする
- 注2) 機器電源は単相100Vとする
- 注3) 図中の"G.L"は浄化槽位置での仕上げレベルを示す
- 注4) 浄化槽からフロウまでの距離は5m以内とする
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする又接続工事は浄化槽工事範囲外とする
- 注6) 臭突管工事は別途とする 又接続工事は浄化槽工事範囲外とする
- 注7) フロウ付近にアース付きコンセント×3を設置のこと設置は浄化槽工事範囲外とする
- 注8) 岩掘削工事 杭工事、地盤改良工事 ウェルポイント工事は別途とする

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	VU50
電線管	PFD36

- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと接続工事は浄化槽工事範囲外とする
- 注2) 排気管の放出部は側溝の最大水位より100mm以上 (目安) 上部に設置のこと
- 注3) 排気管は雨水配管や放流配管 他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと
- 注4) 排気管は途中で水漏りが起こるようなV字配管にしないこと
- 注5) 電線管の両端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと
- 注6) これらの処理を怠ると 浄化槽内で発生したガスが浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している設備・機器の金属類を腐食し機器破損・障害の生ずるおそれがあります

施工高さ範囲					
MH	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易ロック	最小寸法 (この図面)	50H	G.L-350	G.L-250	1860H
	最大寸法	300H	G.L-600	G.L-500	2110H
ボルトロック	最小寸法	100H	G.L-420	G.L-320	1930H
	最大寸法	300H	G.L-620	G.L-520	2130H

注) 製品全高は 製品規格で+10 -20mmの公差があります
流入・放流管底は 製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります

名称	CA-7放流ポンプ付 (T-6荷重)			
	標準図			
設計年月日	設計	検図	図番	縮尺
2016・06・	野毛	飯野	CA007PLF122	1/20
アジグリーン工業株式会社				